



流雪溝未整備地区を整備せよ

関 幸悦 議員

幅広く検討していく

町長



1号車は利用者でにぎわっているが...

早急な計画を

町の流雪溝は、大石田・横山・亀井田地区で運用されている。未整備地区においては、最上川から取水する計画をしているが見通しが立たない現状にある。特に田沢・小菅・里地区の流雪溝は、富並川伊蔵堰・檜ノ沢・田沢の沼からの取水計画を進めるべき。

町長 流雪溝未整備地区の水源については、最上川だけを検討しているのではなく「水源をどこに求めるか」「水量を安定

して確保する」管理についても検討の課題と考えている。富並川伊蔵堰・下ノ川・檜ノ沢・大堤など幅広く検討していく。

猟友会を育成せよ

近年、多くの自治体で農作物の被害が発生している。当町でもカラス・イノシシなど農作物の被害やクマの出没もあった。鳥獣被害対策実施隊の協力団体である猟友会を育成する考えは。

町長 鳥獣被害対策実施隊は、平成26年4月に設置要綱を定め運用してい

福祉バス

38歳から76歳まで現在19名を任命した。町民から寄せられる「クマ・サル・イノシシ」などの目撃情報による確認調査は、山形県鳥獣保護管理員と協力して対応している。平成30年度から全隊員の傷害保険加入やイノシシ10頭捕獲の予算を確保し、段階的に支援していく。

福祉バスの1号車(亀井田方面)は多くの方が利用しているが、2号車(横山・田沢方面)は空席が目立ち不便との声がある。住民の声をどう受け止めているのか。空席が目立つ地域に「デマンドタクシー(※)」を運用する考えはないか。

町長 通院や買い物も支障をきたしているのであれば見直しも考えなければならぬ。



年々増えるクマの目撃と農作物の鳥獣被害

※デマンドタクシー(予約型の乗合タクシー) 車両はタクシーを使い、バスのように停留所から乗合を行う。(家の前まで来てくれる地域もある)バスとは異なり事前登録し予約があった時のみ運行をするところが多い。

町長

前向きにあたっていく

くらし続ける価値ある町に

遠藤 宏司 議員



人口減少

他の市町村と比較し、子どもも大人も高齢者も住みやすさを実感できる施策を考え出し実行するべきと考える。人口の流出や減少は、町の存続にかかわる死活問題だ。歯止めをかけなければ、急速



おいしいと先生方の評価も上々の学校給食

に町の活力が失われる。どうとらえているか。

町長 危機感を持って町政にあたっていく。

流雪溝整備

全町への流雪溝の整備、高齢者宅の屋根の雪下ろし支援、間口、軒下の除排雪など、さらなる豪雪

町民負担

対策の強化が人口流出の歯止めになると思うが。町長 アンケートでは除雪支援サービスの要望が一番多い。昨年からNPO法人による新たな除雪支援制度を実施した。サービスの提供する側、受ける側双方に効果が生じており、年々増加する傾向にある。

福祉・医療・教育に関する負担が青天井で増えている。各種特別会計の基金の活用や、一般財政からの繰り入れなどで財源を確保し、町民負担を県内市町村の平均以下にする気はないか。

町長 福祉、教育など各分野において町民負担が年々増加しているとの指摘は否定できない。負担軽減には異論はない。しかし限りある財源と法律上の制限等の中で精一杯行っていることをご理解願いたい。

県内他市町村では学校給食費の部分補助や全額補助、高校生までの医療費の補助を進めている。町はそれに後れを取ることなく、むしろ、先進自治体にする考えはないか。町長 ふるさと納税などを財源に学校給食の無料化を実施した自治体もあるが、当町としては将来にわたる安定的な財源の見通しが立たない以上、保護者負担は必要と考える。高校生までの医療費の無料化についても、安定した財源の目途が立たない以上、難しいと考える。



たくさん子ども達が元気に遊ぶ町へ